

地区防災訓練と AED講習会

生活安全部会長 前田和彦

令和元年十月二十七日(日)防災訓練の日、天候は少々小雨の降る中での挙行と相成りました。

安清を先頭に集まっていただき、防



災会長の開
会宣言に続
き、人数確認
を行い、地震
想定での防災
訓練を行い。
南砺市消防
署東分署の
竹田様に挨
拶と講評を
述べて頂き
ました。

その後、体育館に入り、AED講習を東分署の職員とレディース分団の方々の指導により行いました。六体の実習用の人形を用意してもらったことのでき、各地区スムーズに熱心に習っておられました。AEDは、尊い人命を取り留める方法です。

それにしても令和元年は、異常気象で大きな台風が次から次に襲ってきて日本中大変でした。色々被害が出ていますが、尊い人命を奪われとても悲惨でした。家の中にいた方が被害に遭



われたというのは、とても悲しい報道です。“災害が迫り来るなら早く逃げなさい” “避難してください” “避けろ！逃げろ！”を防災の基本モットーにして活動を広げています。他所のことといえども大変気になりました。

この高瀬西地区は、地形上幸いにも災害の可能性が少ない地域なので、津波や崖崩れ大水等世間で言う大災害で被害をもちたらず様な災害には全く無関心かつ鈍感になっていきますが、出張や旅行で他地区へ行く機会もあると思います。災害は他の地区へ行けばその土地なりの災害、被害があると思えますので、人としての逃げ方避け方を知っている方が宜しいかと想い、繰り返し巻き返し防災を高らかに叫んでいるのであります。

地域防災は住民の方の熱意によって支えられ、リーダーの決断と地区の備えと訓練に因るものだということだと思ひ、本年も行動して行きますので宜しくお願い致します。

令和元年度敬老会

福祉推進部会長 武部清志

さる十一月三日に令和元年度の敬老会を開催いたしました。当日は天候にも恵まれ穏やかな一日になりました。ご出席いただくにも良い日よりだったと思います。

当地区で米寿をお迎えになられた方は四名いらっしゃいました。お祝いの式にはその四名の方に揃って無事出席をいただきました。式に参加された方々も元氣そうなお顔を拝見されたとほっとされたことと思います



式では南砺市から地域包括支援センター長の松田様にお越しいただき米寿表彰祝辞を賜りました。米寿祝

いを迎えられた四名の方は次の通りです。

- 江田 片山良春様・作家重信様
- 森清 寺井孝夫様・安丸清子様

式の後ステージ発表があり楽しい半日をお過ごしいただきました。

本年も皆様ともども健康に過ごしてまいりたいと思っております。

ご案内 健康・体力測定会
 場所 高瀬ふれあい体育館
 日時 二月二十三日(日)
 午前十時より午後三時

ご案内 高齢者招待会(春)
 場所 高瀬西交流センター
 日時 三月八日(日)
 午前十時より

人事

民生児童委員 大坪 好野(江田) 令和元年十二月一日付

- 区長 三清西 齋藤 茂
- 野原 吉田 茂夫
- 生産組合長 三清西 北堀 一彦
- 野原 柴田 一彦

編集後記

自治振興会、公民館、社会福祉協議会、防災防犯安全会が地域づくり協議会となつて、十か月。行事の共催や見直しを行ってきました。

地域の課題は地域で解決すること、これからも模索検討していきたいと思ひます。

ワイワイ学園初の餅つき



ふるさと広報
高瀬西
 《第3号》
 令和二年一月二十五日発行
 高瀬西地域づくり協議会
 南砺市森清三二四八番地
 高瀬西交流センター内

活力ある高瀬西地区の地域づくり

協議会長 中村義章

令和となって初めての正月を皆様お健やかに迎えのこととお慶びを申し上げます。

昨年は自然災害が全国各地に発生し、地球温暖化の要因を少なくするよう一人一人が、より一層の努力と実践が必要だと感じました。

南砺市が誕生して十六年目に入り七月からは、福光庁舎に機能が集約されます。少子高齢化、人口減少が進み高瀬西地区内でも空き家が増え、農地の後継者が県外(大都市圏)に住居を構える方が増え、営農組織の運営にも人手不足が問題視されています。

地域づくり協議会として昨年四月から事業の見直しや統合など、各部会の連携を取りながら進めて参りましたが、次年度からは新しい体制ですらにこの地区にあった事業活動を推進すべくと思っております。

■交流センター内の改修

二階研修室の照明が薄暗いのはとの申し出もあり、機器の老朽化もあって、本年度は利用頻度の高い研修室と事務室の照明をLED照明機器に改修いたしました。又、事務室に会議テーブル、ノートパソコン等取得で

事務局の機能強化を図りました。

■農業関連団体の役員改選期

今年には農業委員、農協役員・総代、農業共済総代・評価員共に三年任期さらに福野町土改役員・総代、庄川上流用水土改役員・総代共に四年任期の改選期が重なり地区内での人選で区長さんを中心に推薦人選にご足労をおかけいたします。

また県知事選、市長選、市議選がこの秋に予定されています。特に市議選は、定数が二名削減され十八名となり南砺市全域を見据えた対策が重要になると思われます。

■八塚東交差点の改良は今春完工

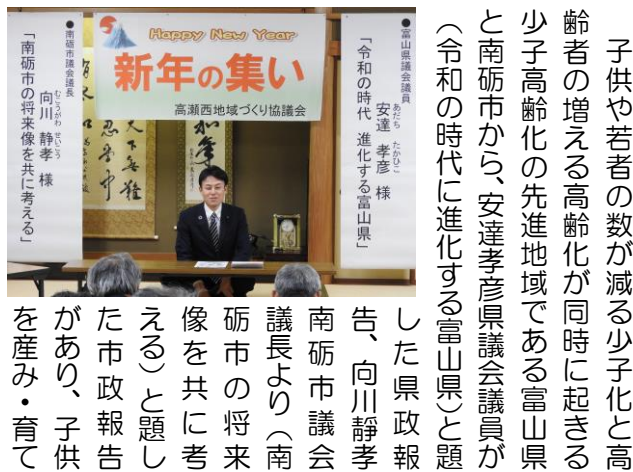
市道安清苗島線のスーパードバイパスの交差点の拡幅改良工事は、三月末には完成する予定です。一日も早い完成が待たれます。

◇ ◇

今年には東京五輪・パラに伴うインバウンド観光客が南砺市でも確実に増えるだろうが、その前に冬季国体スキー競技会が、たいらスキー場でも開催され、おもてなしの力量がためされることでしょうか。又、初場所の朝乃山関の勝敗に目が離せない毎日が続いています。県民の誇りであり、家族そろって応援したいものです。

新年の集い

総務環境副部長 佐々木外茂美
 総務環境部会は令和二年一月十五日高瀬西交流センターにて「富山県と南砺市の夢を語ろう2020新年の集い」を開催しました。



子供や若者の数が減る少子化と高齢者の増える高齢化が同時に起きる少子高齢化の先進地域である富山県と南砺市から、安達孝彦県議会議員が（令和の時代に進化する富山県）と題した県政報告、向川静孝南砺市議会議長より（南砺市の将来像を共に考える）と題した市政報告があり、子供を産み・育てやすい社会に、高齢者も出来るだけ長く働き社会を支える側に回ってもらう。南砺市の行政サービス変更について又、少子高齢化対策に、IOT（モノのインターネット）・AI（人工知能）などを活用する為の5G（第5世代移动通信システム）インフラ（生活の基盤となるもの）の整備等、政治課題と地域将来像の夢に、理解を深める懇談の場となりました。

左義長を終えて

高瀬西地区PTA委員長 中嶋義則



雪の全くない、穏やかな日の中、今年も左義長を行いました。軽四トラックに、たくさん積まれた、わらや豆がらを一生懸命運んでくれる子供達の姿、豚汁作りを手伝ってくれる女の

子供達の真剣な眼差し、もう忘れがちな純粹さを改めて感じさせてくれる貴重なひとときを、ありがとうございました。

地域交流の場でなければ、外であまり遊ばない子供達と接する機会が少なくなりました。このような左義長行事を通して、地域の子供たちの成長に繋がればいいなと思いました。

成人となって

江田 木下 京華

今年、成人式を迎え家族や親戚、友人からお祝いのご挨拶を頂きとても嬉しく思っています。



私はまだ学生ということもあり、大人に仲間入りした実感がまだまだありません。私よりひと足先に社会人として頑張っている同級生とはなっていると、責任感や考え方がしっかりしており、同じ二十歳でも全然ちがうなと、恥ずかしくなりました。

成人式で受けた刺激を忘れず、責任感のある大人になりたいと思います。

裸放水と婦人防火クラブ



高瀬西婦人防火クラブの皆さん

1月4日(土) 出初式福野方面団の裸放水



高瀬西婦人防火クラブは、三月末をもって解散の予定です。長い間、お世話いただきありがとうございます。



文化祭



みんなで頑張りました！



生涯学習副部長 寺井克明
世の中が急に明るくなったような令和最初の地区文化祭は、穏やかな日
和に恵まれ、十一月二日・三日に開催
しました。

地区住民の文化・サークル活動の発表の場であるとともに、地域の子どもから高齢者が一堂に集い、交流を深める場といってもいいかと思えます。各種団体の活動報告には、地区の活動や環境を向上させようと感じさせられる内容が多かったと思います。特に、子供たちの作品には力作が多く、見つける方々の顔もほころんでいました。サークル発表も、この日のために日々練習を重ね、その成果も発揮できたと思えます。女性部や青壮年部のバザー、ワイワイショップ販売は、好評な中で完売いたしました。また、安清営業組合による安価で高品質の野菜販売には、多くの方々が買い求めておられ、地区への感謝を込めての販売と感じられました。これも地区内の文化の一つではないかと思いました。

地区内の団結力の現れであり、永く継続してゆくものと認識しておりますが、少子高齢化の中での諸活動が少しずつ縮小されつつあるように感じられます。今後は、このような問題に取り組み、年間を通して生涯学習の向上につとめ、更に内容を検討しながら継続してまいります。

餅つきに大盛り上がり

ワイワイ学園実行委員会
今年度の活動は「英語と遊ぼう」と「農業体験」を中心に据えて進めてきました。農業体験では、地域の営農組合の支援を受けて、田植え稲刈りのほか、さつまいもの苗植え収穫から文化祭での販売と、いろいろな体験を通じて子供たちや地域の人たちとの交流をすることができました。

昨年の十一月十四日、ワイワイ学園としては初めての餅つきを行いました。昔は、どこか家庭でも行っていました。今では殆ど見られなくなり、見たことはあっても自分の手でつくことは初めてという子供たちが多かったです。



今年三回目の「英語で遊ぼう」のあと、英語講師や集まった父母を交え、餅つきを開始しました。

掛け声に合わせ、経験のあるパパのサポートを得ながら、かわるがわる杵を打ち下ろし、楽しい体験をしました。(表紙写真)出来た餅は、子供たちの手で、あずき・きな粉・ゴマのほか、チョコ・チーズをつけて美味しくいただきました。